

Platys

[プラティス]

KDU COMMUNICATION MAGAZINE

Vol.05
2023.3

広報誌タイトル
「Platys」の由来

医聖ヒポクラテスは、紀元前にギリシャのコス島のプラタナス(スズカケノキ)の木陰で弟子たちに医学・医術、医の倫理を説いたといわれ、本学にはプラタナスの木とコス島から運んだ巨石があります。プラタナスの語源はギリシャ語の「platys(広い)」であり、大きな葉や広がる枝に由来します。学生たちの豊かな成長と、九州歯科大学の繁栄を願い、「Platys」と命名しました。

特集 【到津の森公園 名誉園長×学生インタビュー】

動物との向き合い方を考える

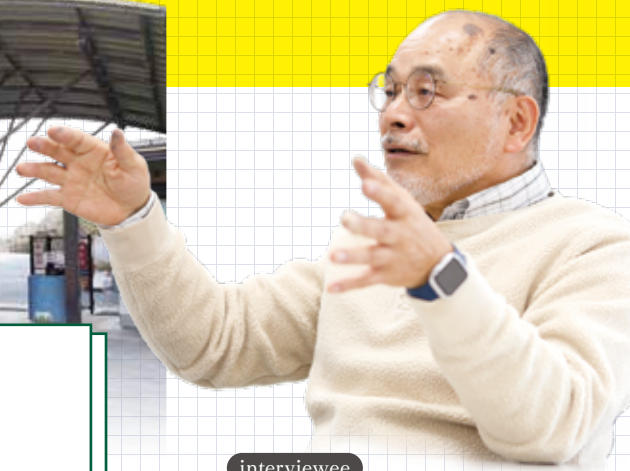
- 「広報学生アンバサダー」に委嘱状交付
- 3年ぶりに歯大祭・体育祭を開催

九州歯科大学

九州歯科大学附属病院

到津の森公園

九州歯科大学の学生が
憩いの場「到津の森公園」を訪れました！



松尾: 獣医師は、動物園以外にどんなところで活躍されていますか？

岩野: 動物病院や保健所、動物愛護センターで働いています。他には畜産連やJRA(競馬)、総合病院で基礎研究をしている獣医師の方もおられます。



泉本: 私たち、歯大生は人体解剖や病院実習などいろんな実習がありますが、獣医学部ではどんな実習をしますか？

岩野: もちろん解剖も経験します。その他にも、病理の検査や寄生虫の検査とか実習はたくさんありました。教科は外科、内科、薬理、繁殖、生理、病理、寄生虫など獣医学部もいろいろと多かったですね。獣医学の中には公衆衛生もあって、「ワンヘルスの考え方」になってきています。

泉本: 岩野先生が、獣医師になろうと思ったきっかけは何ですか？

岩野: 小学生のときに『積みすぎた箱舟』っていう本を読んだことがきっかけです。作者のジェラルド・ダレルは研究者で、ロンドン動物園からアフリカに動物を採集に行く話なんです。昔はみんな、野生のものを引っぺがして持って来ていたようです。すごく面白くて、動物園ってこんな仕事もあるんだ！って思いました。それで動物の研究をしてみたくって、獣医師になりました。

松尾: 哺乳類、爬虫類、魚類、鳥類などいろんな動物がいますが、治療が難しいのは？

岩野: 野生動物は、基本的には治療できません。だから、私たちはケガをしないような環境づくりや、病気にさせないための保健医学が重要になってきます。

松尾: 獣医師の仕事のやりがいや喜びは？

岩野: 一般的には、野生動物に直接触れる機会なんてまずありませんので、すごく楽しいですね。ただ、触れるときというのは深刻な状態なので、責任感を持って動物たちに接しています。現在の医療ではいろんな検査がありますが、昔は自分で考えて選んだ薬がうまく効いて、回復していく様子を見られるとうれしかったですね。

泉本: 今まで獣医師をされてきて、「あのときは、大変だった」ということがあれば教えてください。

岩野: やっぱり記憶に残っているのは、治らなくて死んだキリンのことですね。テナガザルの腕や、ジャガーの顎関節が折れたときは治せたけど、キリンのときはダメでした。キリンが骨折したとき、動物用のプレートやボルトはなく、人間の最大のボルトで継いで治療したんですけど、また折れて死んでしまいました。こういうのは忘れられないです。

獣医師 × 九歯大生

動物との向き合い方を考える



interviewer

口腔保健学科 4年
松尾 実咲さん

歯学科 4年
泉本 圭聖さん

九州歯科大学に程近い小高い山の上に、自然や動物とのふれあいを通して学習する自然環境教育施設、「到津の森公園」があります。依然として猛威を振るう感染症は、動物から人へ広がった人獣共通感染症とされています。

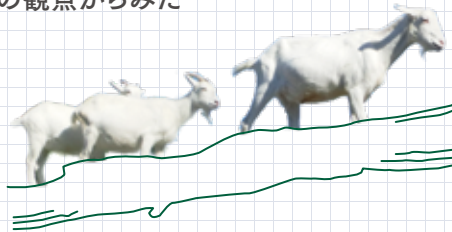
人と野生動物の接触が増え、生態系バランスの乱れが背景にあるなか、人と動物、環境すべての「健康」を目指す「ワンヘルス」という考え方に注目が集まっています。

今回は、「到津の森公園」の名誉園長で、獣医師の岩野 俊郎さんに、本学の学生2名が獣医の観点、そして歯学の観点からみた動物の生態などについてインタビューしました。



interviewee

到津の森公園 名誉園長
岩野 俊郎さん



Q 岩野先生に聞く、動物園での獣医師の役割

泉本: 今日よろしくお願いします。最初に、「到津の森公園」には何人の獣医師さんがおられますか？ 飼育員さんなど、他にどんな方が働いていますか？

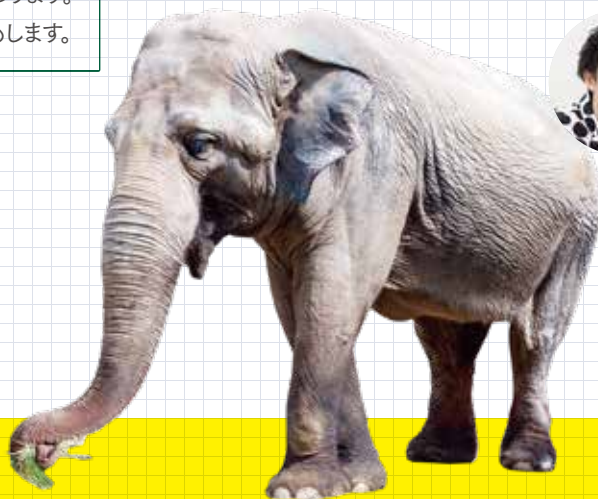
岩野: 常駐している獣医師は3人。飼育員と合わせて22人で動物と関わっています。他には20人程の事務担当と、清掃や売店などの担当スタッフも一緒に働いています。

泉本: 園内で、獣医師はどんな仕事をされていますか？

岩野: うちの園では、獣医師と飼育員が協力し、一緒に飼育をしています。そのほうが飼育状況がよくわかりますから。もちろん、動物の調子が悪いときは獣医として積極的に関わります。麻酔、採血、投薬、レントゲン、妊娠診断でエコーを撮ることもあるし、手術や解剖もします。

松尾: 獣医師になるためには、獣医学部を卒業して国家試験を受けると思いますが、同じように飼育員さんにも必要な資格がありますか？

岩野: 特別な資格はありません。学歴もさまざまで、専門学校で学ぶ方もいますし、高卒や大卒の方もいますよ。



Q 動物と獣医師の関係は...

松尾: 獣医師として、言葉を発しない動物と「コミュニケーション」はどのように取られていますか？

岩野: 「コミュニケーション」っていうのは、相手はどう思うか考えることから始まるんですよ。お互いに関わることによって、何らかの役得がないとしないんです。相手の心を読んでコミュニケーションできる動物は、実はすごく少ないですよ。自分たち人間とチンパンジー、ゴリラ、象、イルカの5種類といわれています。

岩野: ところで、君たちにとって一番の幸せって何？

松尾: 平穏な生活ができることです。

泉本: 病気にならないことでしょうか。

岩野: そうですね。そのように自分が思っていることをできる「自由」が幸せにつながります。それが従来の動物園では欠けてました。これからは当たり前と思っていることが本当に良いことなのか、常識を変えていかないとはいけません。例えば、象やチンパンジーは相手のことがわかる動物だから、群れで飼うほうがいいです。ものを言わない動物に配慮して、環境をつくっていくウェルフェア・福祉が大事です。

泉本: 動物に対する関わり方で、最も大切にしているのはどのようなことですか？

岩野: それぞれの動物が野生の状態でのどんな行動をしているか、本来の生態を僕らが知るのが一番大事なことだと思っています。それと違うことをしていたら調子が悪い。日頃の活動をよく観察し、例えば寝る時間が多くなったり、動きが悪くなったり、ちょっとした変化を見つけるようにしています。

泉本: 歯科医師は、歯科衛生士や歯科技工士、看護師、医師など、他職種と連携して医療を進めていくことがあります。獣医師の仕事の場合、どのような連携をされていますか？

岩野: 大学の医学部や農学部などに試料を送ったり、動物の組織を見てもらったりと、さまざまなお互いに連携しています。

松尾: 最近、FAVA(アジア獣医師会連合)大会・福岡ワンヘルス国際フォーラム2022に参加して、「One Health」について勉強してきたばかりです。先生は「ワンヘルス」についてどのような考えをお持ちですか。

岩野: 新型コロナウイルス感染症や鳥インフルエンザなど動物由来感染症が増えている現在、私たち人間にとっても「ワンヘルス」はとても重要な課題だと考えています。獣医学と動物園が一緒になって活動できたらいいですね。

Q 動物の歯について考える

泉本: 草食動物は食べ物をすりつぶす臼歯が発達し、肉食動物は食べ物を噛みちぎる犬歯が発達しているため口や歯の形態が異なると思いますが、歯科医師を目指している自分にとっては興味深いので、他にも特徴があれば教えてください。

岩野: 例えば、牛とライオンとの臼歯は全然違います。切り裂くのが肉食動物の歯で、すりつぶす必要がない。あとは飲み込むだけです。顎関節も違って、ライオンは上下にしか動かないけど、牛は左右に動く。「んがんが」って草食べてるの、見たことあるでしょう。歯の形状は食べ物によって違います。結局は進化の過程で、弱者がいかに生き残るか、適応するのが進化です。歯も爪も手の形も全部そうです。

ひとくちメモ

【ライオンの歯】

肉を噛み切る鋭く大きな牙があり、ハサミのような機能を持っている。

【象の歯】

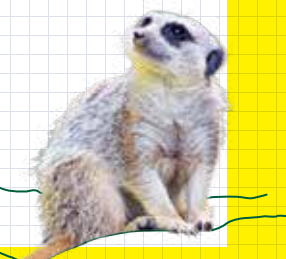
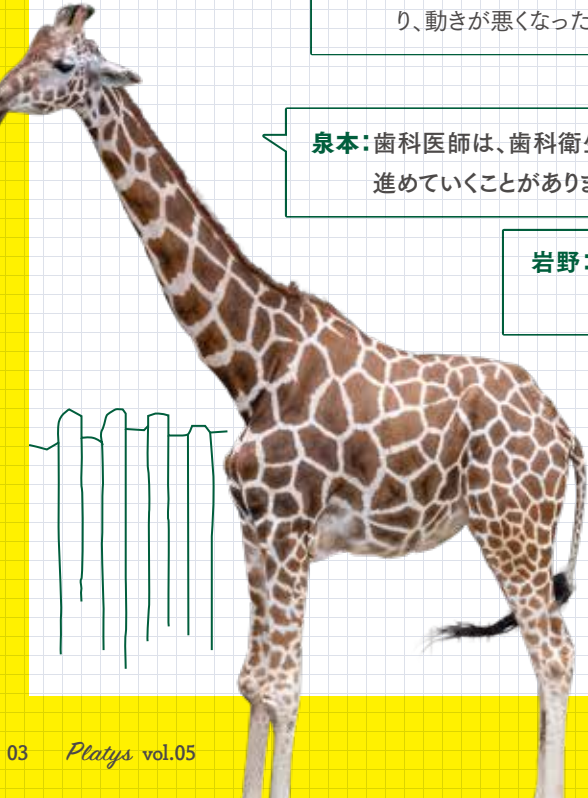
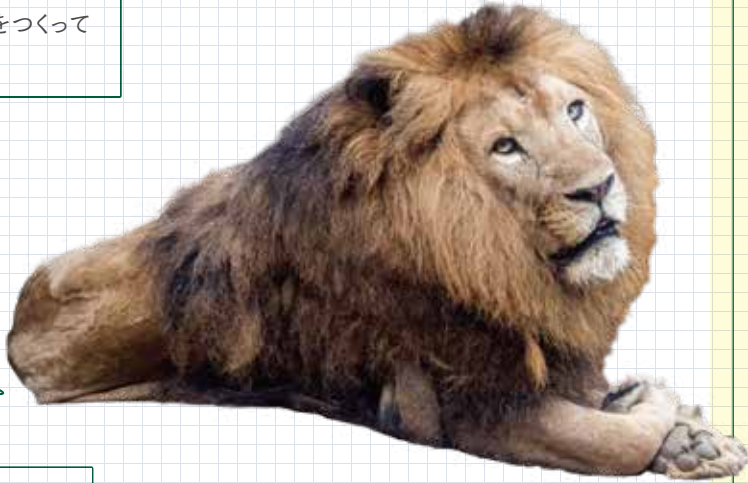
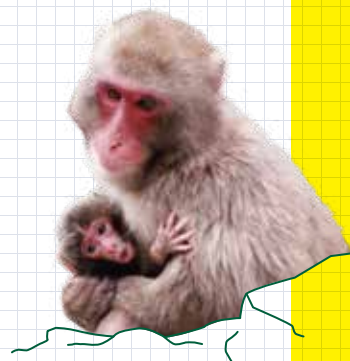
すりつぶす歯が摩耗しないように、常に後ろに大きな臼歯が待ち構えていて、前の歯を押し出していく。50歳くらいまで生え続け、最後の臼歯は草鞋(わらじ)ほどの大きさ。



象の口腔内▶

松尾: 動物も人間と同じように、むし歯や歯周病など、口・歯の病気になりますか？

岩野: 歯周病やむし歯になる理由は何でしょう？細菌が糖を分解するからです。糖分があるものをあまり食べない野生動物は、むし歯にはなりません。前身の到津遊園のとき、スナック菓子を食べていた来園者が餌として、マントヒヒにそのお菓子を与えていました。後にマントヒヒが死んだとき、むし歯になっていることがわかったのです。私は死ぬまでむし歯に気づかず「痛かったらうな」と思いました。そのような経験から、現在は動物の健康を一番に考えた餌のみ、園内で販売しています。その餌を購入してもらい、動物と触れ合ってもらっています。



インタビューを終えて...

到津の森公園 名誉園長からのメッセージ



到津の森公園 名誉園長
岩野 俊郎さん

動物園での獣医師の役割は治療ではありません。重要なのは病気にさせないこと。獣医師と飼育係員が連携し、チームで成果を上げていきます。獣医師は技術だけではなく、動物にも係員にも寄り添う気持ちがなくてはなりません。それが動物の健康と自分たちの健康、そして安全につながるのです。ウェルフェア(福祉)は、動物にも人にも最も大切なことです。

プロフィール 1948年 山口県下関市生まれ。1972年 日本獣医畜産大学獣医学科卒業。1973年 西日本鉄道株式会社・到津遊園入社。1997年 同園園長に就任。2000年 到津遊園閉園。2002年 到津の森公園開園、同園園長に就任。2022年3月同園園長を退任。同年4月より 名誉園長に就任。
著書「戦う動物園ー旭山動物園と到津の森公園の物語」中央公論新社、翻訳書「動物園動物のウェルフェア Zoo animal Welfare」株式会社養賢堂など。

到津の森公園のあゆみ

「到津の森公園」の前身である到津遊園(いとうづゆうえん)は、1932(昭和7)年、西日本鉄道の前身の九州電気軌道によって開園されました。動物園と遊園地を併設した公園として市民に親しまれ、最盛期の入場者数は年間79万人を数えるまでになりました。しかし、レジャーの多様化によって1969(昭和44)年をピークに入場者数が伸び悩み、2000(平成12)年、経営不振によって68年の歴史に幕を降ろしました。閉園の発表に対し、市民からは園の存続を求める署名が多数寄せられました。この声が北九州市を動かし、市の所管として運営を継承。新しい構想の下、約2年かけて整備を行い、2002(平成14)年4月「到津の森公園」が開園しました。自然に近い環境で動物を観察できるように、檻をなくして動物舎の中に木を植え、床をコンクリートから土に変更。「人に、動物に、自然に優しい」公園として生まれ変わったのです。



学生からの一言



歯学科 4年
泉本 圭聖さん

新しい動物園を一から築き上げるのは、人生最大の転機となるほど並大抵ではなかったことが、言葉の端々から伝わってきました。特に心に残ったのが、動物たちが自分で選択し自由を享受できる環境にするために、まず動物園の常識を疑う、ということです。到津の森公園は、動物の生き方や四季折々の自然など、全ての環境から学べる場所。「動物園っていいなあ」と感じられたひとときでした。



口腔保健学科 4年
松尾 実咲さん

私は動物園が大好きで、たくさん動物を見るために行っていたのですが、動物園はただ動物を見て楽しむ場所ではなく、動物から学ぶ場所だということがわかりました。これからは、飼育の環境や動物の変化などにも着目し、楽しんでいきたいです。私も家で動物を飼っています。「動物にとっての本当の幸せ」について学び、考える機会になり、飼い方を見直していきたいと思いました。

教員からの一言

動物の健康を考えることが、環境と人と動物のより良い関係につながっているのだと実感しました。

今回の企画にご協力いただきました獣医師でもある高橋 能理子副園長をはじめ、到津の森公園の皆様にも多大なる感謝を申し上げます。

引率教員 黒石 加代子

動物に寄り添った園づくりをされてきた岩野さんの熱き思いに胸が高鳴り、四季折々の自然豊かな森が大学の近くにあることをとても幸せに思いました。

引率教員 船原 まどか



前列左から/歯学科 4年 泉本 圭聖さん、口腔保健学科 4年 松尾 実咲さん
後列左から/口腔保健学科 1年 新井 美優香さん、船原 まどか 講師、岩野 俊郎 名誉園長、木尾 哲朗 副園長、黒石 加代子 助教

松尾:動物も口・歯をきれいに、大切に保つために清掃やメンテナンスをされていますか?

岩野:動物園では、メンテナンスはしていませんね。それよりもとても大事なことは、歯が悪くならないような餌を与えることだと考えています。

松尾:う蝕、口内炎で、動物に歯が痛いという感覚やサインはありますか?

岩野:う蝕や口内炎はほとんどありませんが、噛めないときはよだれが出たり、食べなくなったりなどの様子でわかります。

泉本:そのようなときは、歯を治療することもありますか?

岩野:動物の中では、口腔内の病気はカンガルーぐらいですね。カンガルー病という口腔障害があって、骨が腐ってしまう病気です。放線菌症が原因といわれ、投薬治療をします。家で飼うペットは、野生の動物と比べて歯周病が多く、動物病院で治療が行われていますよ。

泉本:噛み合わせが悪い場合は、何か対処するのですか?

岩野:若干噛み合わせが悪い動物はいますが、それで困ることはありません。矯正などの治療は、動物にかかる負担のほうが大きいので行いませんね。

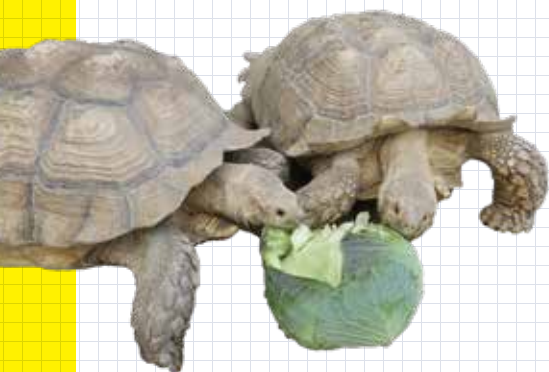
松尾:歯の生え変わりはありますか?

岩野:肉食動物は乳歯から永久歯に変わります。ワニの場合は大きくて硬いものを食べるので、歯がボロボロと取れるんですが、次々と新しい歯が生えてきます。動物によって生え変わり方も全然違います。

松尾:最後になりますが今春、リニューアルされる新しい「到津の森公園」の魅力を教えてください。

岩野:動物園にはアウトドアならではの魅力がたくさんあります。動物だけではなく、四季折々の景色を楽しむことができ、一緒に来た家族や友達といろんな話をして、学びや体験を分かち合ってもらいたいと思っています。すべての人から愛される魅力ある動物園にと考えています。

泉本・松尾:今日は、貴重なお時間をありがとうございました。



「広報学生アンバサダー」に委嘱状が交付されました。

広報学生アンバサダーは、大学の広報誌やwebサイト等を活用した大学の広報を学生目線で行う活動を目的として、広報活動に協力してくれる学生を募集しました。

今年度は歯学部歯学科、口腔保健学科から合わせて8名に、「広報学生アンバサダー」として大学が委嘱し、就任していただきました。

本学の広報においては、教職協働に加え、学生を含めて広報活動の担い手となり、広報誌やwebなどを通して、地域に必要とされる情報を発信することに努めてまいります。

前列左から：歯学科1年 相馬 瑠稀さん、西原 達次 学長、
歯学科2年 大川 小百合さん、歯学科3年 石川 凜さん
後列左から：黒石 加代子 助教、木尾 哲朗 副学長、
船原 まどか 講師



活動報告 第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会に学部学生が参加

令和4年11月11日(金)～13日(日)、ヒルトン福岡シーホークで開催された「第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会」に、本学の学部学生が教員引率のもと参加しました。大会は、「アジアからのワンヘルスアプローチ」をテーマに行われました。



会場となったヒルトン福岡シーホーク



第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会 学生レポート

Report 1 獣医学の領域も含め、医療行為のあり方を考える機会に

歯学科1年 相馬 瑠稀さん

本学会への参加は、歯学部に入學して半年ほどの私にとって新鮮味があり、大変興味深い学びとなりました。医学や歯学に関する知識や経験はまだ少なく、正直なところすべてを理解することは難しかったのですが、セミナーや各企業のブースなどさまざまな場を通して考えさせられました。JRAのブースにおいて、馬専門の獣医師の方とお話する機会があり、日本では動物に対する歯科医療行為を獣医師が行うことを知りました。一方、世界的には歯科医師が動物の歯科治療を行うことは珍しくないと言われ、日本でも医科歯科連携に加えて獣医学の領域とも連携する“チーム医療”が将来実現されたいと思いました。



Report 2 人も動物も、口腔の健康が全身の健康につながっている

口腔保健学科1年 新井 美優香さん

私は、学校をはじめとしたワンヘルス教育についての講演を聴講しました。学校教育や指導内容をより充実させていくべきだという講演内容を聞き、ワンヘルス教育は学ぶだけでなく、推進していく側の意識や行動も変化させていると感じました。セラピードッグ事業などの紹介もあり、さまざまな形でワンヘルスに対する取り組みが行われていることを知ることができました。ワンヘルスの理念が、今後さまざまな現場で広がっていけば良いなと思いました。また、「COVID-19時代をペットとともに乗り切るーCOVID-19だけじゃない人と動物の感染症ー」をテーマとした日本医師会・日本獣医師会・厚生労働省の連携シンポジウムにも参加しました。新型コロナウイルスには人から伴侶動物(犬や猫など)への感染報告があり、またその逆の報告もあることを知りました。感染症から伴侶動物を守るための一つの方法として、毎日の口腔内の洗浄・定期的な歯石除去があり、口腔の健康が全身の健康につながっているのは人も動物も共通であることがわかりました。シンポジウムに参加して、ワンヘルスについて考える機会は身近なところにあるなと思いました。



Report 3 動物のOA(変形性関節症)に関するセミナーに参加して

歯学科2年 大川 小百合さん

私は、動物のOA(変形性関節症)に関する講演を聞きました。OAとは、関節の構成要素の退行変性により、軟骨の破壊と、骨・軟骨の増殖性変化を来す慢性炎症を伴う関節疾患で、軟骨と骨の連絡通路に血管や神経が侵入することで強い痛みを伴うとのことでした。抗NGF(神経成長因子)抗体を用い、末梢侵害受容器における疼痛シグナル伝達物質であるNGFに対して、強力な鎮痛効果を発揮するという最新の治療方法が紹介されていました。しかし、現時点では抗NGF抗体を用いた治療は、手術以外に治療の選択肢のない病状の進行したOAの動物への応用であり、初期のOAにも抗NGF抗体を応用できるようさらなる研究が続いているそうです。高校の生物学の知識や大学1年生のときに学習した解剖学のおかげで理解を深めることができました。



Report 4 痛みに苦しむ動物を救う、新たな治療法と新薬の開発

口腔保健学科2年 福原 萌々さん・古西 玲摩さん

私たちは二人で動物の変形性関節症の病態の治療についての講演を聴講しました。講演の内容は、動物の変形性関節症の症状、その病態、そしてその治療に有効だと期待されている抗神経成長因子治療についての内容でした。動物の軟骨の炎症は遺伝によって起きるものではなく、また、軟骨は年齢によってすり減っていくことで弱ってしまうものであること、そして、1回損傷してしまうと元に戻ることはできないものであることや、この病気の疼痛緩和に向けた治療法が開発が進められていることを知りました。講演を聴講し、有効な薬が開発されることで、長く人間に寄り添ってくれる犬や猫がこの病気で苦しむことがなくなれば良いなと思いました。



教員からの一言

「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康として捉え、一体的に守っていく「ワンヘルス」の考え方について、参加した学生からは「興味深い学びとなった」という声が聞かれました。また、歯科において私たちが「ワンヘルスのために何ができるのか」考える良い機会となりました。

引率教員 黒石 加代子

前列左から：
口腔保健学科1年 新井 美優香さん、口腔保健学科2年 福原 萌々さん、
口腔保健学科2年 古西 玲摩さん、歯学科2年 大川 小百合さん、
歯学科1年 相馬 瑠稀さん

後列左から(引率教員)：
磯部 彩香 助教、黒石 加代子 助教、木尾 哲朗 副学長



5月26日(木)~

2022WEBオープンキャンパスを実施しました

COVID-19感染症拡大の影響を考慮し、来場型のオープンキャンパスは中止とし、一昨年度、昨年度に引き続き九州歯科大学をより詳しく知って身近に感じていただくため、受験生に向けたWEBオープンキャンパスを実施しました。

WEBオープンキャンパスでは大学紹介のほか、歯学部長から歯学部の紹介動画、歯学科・口腔保健学科の学科長並びに各学科の教員から紹介動画の掲載、オンライン個別相談会にて教員が受験生や保護者からの質問にお答えしました。加えて、施設探検(360°パノラマビュー)を掲載し、学内の講義室や実習・演習室、附属病院のほか多数の施設の紹介を行いました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



7月28日(木)

福岡県立小倉高等学校の生徒に向けた解剖実習見学を実施しました

福岡県立小倉高等学校の生徒の皆さんに人体解剖実習見学を実施しました。

生徒の皆さんは真剣なまなざしで教職員の説明を聴き、人体について学ばれました。

本学の解剖学分野の人体解剖学実習では、本学の学生のみならず近隣の高校や大学、歯科衛生士学校、看護学校、リハビリテーション専門学校などのメディカル領域の学生教育や地域貢献を行っています。



解剖学分野の瀬田教授から説明を受ける小倉高校の皆さん

10月3日(月)

広報学生アンバサダー委嘱状交付式を開催しました

令和4年度広報学生アンバサダー委嘱状交付式を開催しました。

式では、西原学長から学生へ委嘱状が交付され、「大学は、広報学生アンバサダーの皆さんにとっても期待しています。学生目線の大学の魅力等の発信を、ぜひお願いしたいと思っています」と激励の言葉がありました。



委嘱状の様子

10月8日(土)

西南女学院大学との地域連携公開講座を開催しました

西南女学院大学8号館において、本学口腔保健学科が西南女学院大学栄養学科と地域連携公開講座「『食と健康』体験教室」を開催しました。COVID-19禍で中止となっていたため3年ぶりの開催となります。

今回の講座では、対象者を高校生の子どもを持つ保護者世代とし、西南女学院大学・高崎智子先生による「乳がんと生活習慣」というテーマの講演と、両学科の学生が主体となり運営する体験コーナー(骨密度測定、身体組成測定、食事診断、お口の相談会)が行われました。本学からは、ライフステージ歯科栄養学II(選択科目)の受講者が参加。口腔保健学科3年生9名が、ミニレクチャーやポスター発表を行いました。医師、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士など多職種が関わった地域連携公開講座で、学生たちは普段の学修成果をもとに幅広い視野の歯科保健活動を実践することで貴重な体験ができたようです。また口腔保健学科の歯科医師と歯科衛生士によるお口の相談会には、多くの参加者が相談に訪れ、地域住民の健康増進に寄与できました。



発表の様子



記念撮影



9月3日(土)・4日(日)

九州デンタルショー2022に参加しました

マリンメッセ福岡で開催された「九州デンタルショー2022」に参加しました。デンタルショーは福岡県並びに九州各県及び近隣から来場される歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士はもとより歯科医学及び医療に携わる方々に、最新の歯科医療器械、材料及び薬品等の展示及び医療情報の提供を目的として開催されています。本学も参加し、九州の歯科大学5校(九州歯科大学、九州大学、福岡歯科大学、長崎大学、鹿児島大学)すべてのブースが設置されていました。



デンタルショーの様子

本学の卒業生や本学に興味を持ちブースにお越しくださった皆さま方、誠にありがとうございました。

ブースには、APCポスター、本広報誌Platysの表紙、口腔粘膜疾患診断支援システムのポスターを掲示しました



10月3日(月)~1月31日(火)

「Asia-Pacific Conference 2022 in Fukuoka」をオンデマンド形式で開催しました

今年度のAPCはメインテーマを「New strategy for collaboration of dental education and research after COVID-19(COVID-19後の歯学教育研究連携の新戦略)」として、オンデマンド形式にて開催しました。本学学長挨拶の後にDr. Shin-Chung Chen元台湾衛生福利部部長、Mr. Ming-Chun Chen台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処長から祝辞をいただきました。

次に台北医科大学口腔医学部学部長のDr. Hsin-Chung Cheng教授の基調講演が行われました。

また、APCにおいてはポスター発表も行われ、26題の発表がありました。



10月28日(金)~

本学の学部学生が【福岡県公式】ふくおかインターネットテレビに出演しています

本学の学部学生が、【福岡県公式】ふくおかインターネットテレビ内の【岡澤アキラのふかぼりっ!福岡県】に出演し、「歯の健康」をテーマとして歯周病や歯の磨き方のポイントについて説明をしています。ぜひご覧ください。

番組名:【岡澤アキラのふかぼりっ!福岡県】
配信元:YouTube内【福岡県公式】ふくおかインターネットテレビ
※福岡県庁YouTube「ふくおかインターネットテレビ」・「福岡県庁動画資料館」では、広報テレビ番組やインターネット番組、服部知事の記者会見、福岡県の取り組みなど幅広い内容の動画が配信されています。



11月16日(水)

令和4年度 解剖献体者慰霊祭並びに 実験動物慰霊祭を執り行いました

本学講堂にて、令和4年度九州歯科大学合同慰霊祭を感染拡大防止対策をとったうえで執り行いました。

御遺族、来賓をお招きし、教職員、歯学科、口腔保健学科の学生約120名が参列し、歯科医学の発展と、本学の教育・研究のために献体されました御霊に対し、御冥福をお祈りしました。また、西原学長、福岡県知事、瀬田解剖学分野教授、学生の代表が歯学教育にその身を捧げてくださった方の御霊と、その志を理解してくださった御家族に感謝と追悼の辞を述べました。

また、歯科医学の発展のため動物実験に供された動物の冥福を祈る慰霊祭も執り行いました。歯科医学研究のために命を捧げ犠牲となった多くの実験動物に対し、謹んで感謝と敬意の念を表します。



献花を捧げる参列者

Our Happy Time

必見! 九歯大のローカル情報コーナー

このコーナーでは、本学の学生さんにお気に入りの景色や場所、食べ物など、自身の学生生活を充実させてくれる「イロイロ」を紹介してもらいながら、将来の夢にも迫ります。九州歯科大学ならではのコアな情報や共感する夢もあるかも!?



口腔保健学科4年
松尾 実咲さん
My Happy Time
愛犬の「ムサン」



私のお気に入りには愛犬のムサンです。犬種はボクサーです。将来は歯科衛生士の教育に携わる仕事をしたいです。



歯学科3年
石川 凜さん
My Happy Time
「カーリースパイス」のカレー



私のお気に入りには、九州歯科大学の近くにあるカーリースパイスさんの「野菜入りゴールドチキンカレーの副菜付き小盛りプレート」です。大学のすぐ近くにあるので、お昼休みの時間によく食べに行っています。野菜が日によって変わるので、「今日はどの野菜が入っているかな～」と行く度にとても楽しみです。将来は、患者さんに寄り添い、患者さんのQOLを上げる手助けができる歯科医師になりたいです。



口腔保健学科2年
古西 玲摩さん
My Happy Time
地元の温泉街



私のお気に入りには地元の兵庫県豊岡市にある城崎温泉の夜景です。城崎温泉は、奈良時代から存在しており、今なお観光客が絶えない兵庫県を代表する観光スポットです。

7つの外湯があり、浴衣を来て巡ることが醍醐味です。たくさんの柳並木があり、日本一浴衣姿が似合う場所とされています。とても綺麗で心が浄化されるので、この夜景を見るのを楽しみに毎回帰省しています。機会があればぜひ観光にお越しください!



歯学科2年
大川 小百合さん
My Happy Time
音楽



私の好きなものは音楽です! 所属している部活のBLUE NOTESでは、ドラムを担当しています。今はビッグバンドでJAZZを演奏していて、この写真は定期演奏会のリハーサルの時に撮ったものです!

将来は歯科医師になるのに加えて音楽にも触れていきたいので、仕事と趣味を両立できるように、今は勉強と部活の両立を目標に頑張っています!



口腔保健学科1年
新井 美優香さん
My Happy Time
北九州市の景色



私のお気に入りには、小倉駅から見える北九州市の景色です。北九州市に住み始めてまだ1年ほどしか経っていませんが、この景色を見ると帰ってきたという気持ちになり安心します。北九州市は産学官が連携し、さまざまなことに挑戦している素敵な市です。だからこそ学生のうちに多くのことを経験できると思います。経験を通してたくさんの人と出会い、多様な価値観に触れていきたいです。

大学からのお知らせ

歯科医師国家試験の最低修業年限合格率について

令和3年度に本学歯学科を卒業した89名の第115回歯科医師国家試験合格率は86.5%(全国平均77.1%)でした。これは令和2年度と全く同じ数字で、全国29の歯科医師養成大学では6番目に高い合格率です。今回は「合格率」についてご説明します。

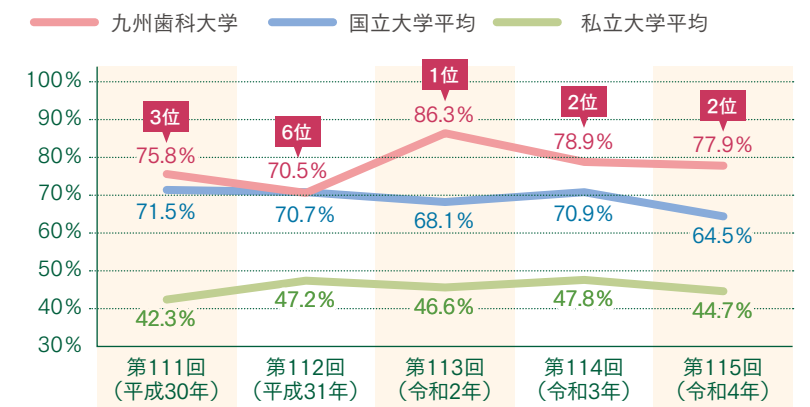
【表】の上段は厚生労働省発表による第115回歯科医師国家試験の新卒合格者数と合格率ですが、この合格率は受験者数に対する合格者の割合を表しています。一方、出願者数と受験者数に大きな差があることにご注意ください。この差は当日の体調不良などありますが、卒業を控えた6年生が国家試験受験の応募を11月頃に行ったのち、各大学の卒業試験で不合格となり国家試験を受験できなかったために生じており、見た目の合格率の上昇に一役買っています。そこで近年「(最低)修業年限での歯科医師国家試験合格率」が注目され、文部科学省から毎年秋に公表されるようになりました。これは大学入学後に一度も留年することなく最低修業年限の6年間で卒業し、その年の国家試験に合格した学生の割合を表すため、大学における歯学教育の質を評価する指標の一つと考えられるためです。

【グラフ】のように本学は過去5年間、全国国立大学の平均をほぼ上回っており、最近では全29大学中、1~2位で推移しています。これからも教職員一丸となって本学の特徴の一つである学生に寄り添った手厚いサポートを通じて学生諸君の自発的な学びを促すとともに、本学における歯学教育の質の向上に努めてまいります。

【表】第115回歯科医師国家試験の合格者数等 (厚生労働省 発表参考)

	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
新卒者(全国)	2,413人	1,999人	1,542人	77.1%
新卒者(本学)	89人	89人	77人	86.5%

【グラフ】最低修業年限合格率(過去5年間) (文部科学省医学教育課調べ)



歯学科長 竹内 弘

口腔保健学科就職支援状況

歯学部口腔保健学科は2010年に設置され、すでに200名以上の卒業生を輩出しています。卒業後の進路は、保健医療機関をはじめ、医療関連会社、食品会社などの一般企業、口腔保健医療に related 行政機関など、医療資格(歯科衛生士)を活かしての就職はもちろんのこと、4年制大学卒の特徴として学士(口腔保健学)を活かしての就職もあり、右表に示している通り多様なものとなっています。

本学科では、就職支援の一環として1年次生から「キャリア・デザイン」という科目を開設し、保健医療分野をはじめ各種業界で活躍する方々の講演を聴く機会を設けるなど、将来の就職を見据えた教育を行っています。またインターンシップも実施しており、医療機関だけでなく、医療関連会社や食品会社など一般企業への就職についてもサポートしています。就職支援室では、求人票の閲覧、求人情報の検索、就職に関する図書の貸し出しが常時可能で、リモート面接用ブースも設置しています。加えて、本学のホームページにインターネットを通じて、求人先の求人情報やインターンシップ情報を配信するシステムを導入しています。

■口腔保健学科卒業生の進路状況(過去5年間)

年度	進学		就職			
	本学	他大学	病院	歯科診療所	団体・公務員	民間企業
令和3年度	-	3	5	12	-	3
令和2年度	1	-	8	11	1	3
令和元年度	1	-	11	11	1	2
平成30年度	1	-	9	9	2	3
平成29年度	1	2	11	5	2	4

口腔保健学科長 邵 仁 浩

コラム No.05
おうちのお話

「からだの衰えは、
口の衰えからはじまります！」

人間は年齢を重ねるたびに円熟味を増していくといわれています。その一方で、からだのいろんな機能は衰えをみせてくるようにもなっています。

例えば、手や足の衰えを感じたときには、散歩やジョギングをしたり、ジムへ行ってトレーニングをしたりするのはよくあることです。では、口やのどが衰えるといったことを考えたことはあるでしょうか？ 口やのどは食事や会話などで日常的によく使う場所なので、衰えるということがわかりにくいかもしれません。

近年、「オーラルフレイル」という言葉をよく聞くようになりまし。これは「滑舌が悪くなった(舌が回らなくなった)、食事中にムセや食べこぼしがみられるようになった、噛めない食品が増えた」といった、口のわずかな機能低下を見逃すと、からだの機能の低下(フレイル)を引き起こすといった考えです。つまり、からだの衰えは口の衰えからはじまっているのです。

一旦、衰えてしまった機能を元へ戻すことは難しい場合もあります。いつまでも口から

食べるためにも、若くて元気なうちから、できれば子どもの頃からでも口の機能に興味を抱き、年齢を重ねたときにはわずかな機能低下を見逃さないようにして、その口の機能を維持していくことがとても大切なことだと考えます。



九州歯科大学口腔保健学科多職種連携推進ユニット

教授 藤井航

九州歯科大学基金のお知らせ

九州歯科大学基金へ多大な貢献をいただいたことを、ご報告します。

本学の「新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する」などをはじめとする、数々の教育研究目標を達成するために、「国際的口腔保健活動のフロントランナー育成」事業を現在展開しております。

その事業を支援することを目的として、九州歯科大学基金を創設しており、令和4年12月31日までに、皆さまからいただきました寄附の申し込み状況は、法人・団体様等より142件で寄附額9,088,428円、個人様より199件で寄附額5,865,020円となりました。日頃より温かい御支援をいただき、心より御礼申し上げます。ともに、ここに御報告いたします。

本基金による「国際的口腔保健活動のフロントランナー育成」事業では、具体的に右記のような取り組みを行ってまいります。

取 り 組 み

1. グローバルな視野をもった医療人育成支援
海外の大学との連携強化および国際交流活動の推進、学生国際交流活動推進プログラムの運用支援
2. 学生・大学院生・留学生の奨学金の確保
大学における奨学金の効率的かつ実効的な運用支援。大学が主体的に運営するための基金の確保
3. 大学主導のリカレント教育の強化
あらたな医療技術普及活動・歯科医療人再教育活動の推進支援

ご寄附に関する窓口 公立大学法人九州歯科大学九州歯科大学基金事務局(担当:総務課)
〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1
TEL:093-285-3008 FAX:093-582-6000

詳しくは、HPをご確認ください。



編集後記

昨年は自治会の二大活動である「歯大祭」と「体育祭」が3年ぶりに開催されました。コロナ禍で中止も覚悟して、実施を目指し準備を続行した両イベントの実行委員長、自治会長、そして参加した学生諸君に敬意を表します。さらには今年には学生アンバサダーが結成され、到津の森公園さんのご協力の下、初めての取材を実施して参加者一同、愛らしい動物たちに癒されました。読者の皆さんにもこの癒しが届くと良いと思います。九州歯科大学は学生生活の日常を取り戻すべく教職協働で取り組みを展開しています。

九州歯科大学 副学長 木尾 哲朗

【表紙写真について】

表紙の写真は、特集で対談をお願いした「到津の森公園」の観覧車から眺めた景色です。大学本館と附属病院の左奥に見える山は、和気清麻呂の伝説がある足立山です。麓の霊泉で清麻呂が足の傷を治し、山に登ったことから名前が付いたといわれています。大学は街なかにあり、周辺には動物園や自然にも恵まれ、九歯大生たちは豊かな環境で大学生活を過ごしています。

九州歯科大学広報誌「Platys [プラティス]」へのご意見・ご感想をお待ちしています。

✉ e-mail:kikaku@kyu-dent.ac.jp

本誌についてのご意見・ご感想をメールにてお寄せください。いただいたご意見は、今後の広報誌編集の参考にさせていただきます。

九州歯科大学の情報は、Web上でもご確認ください。

大学HP



大学広報

